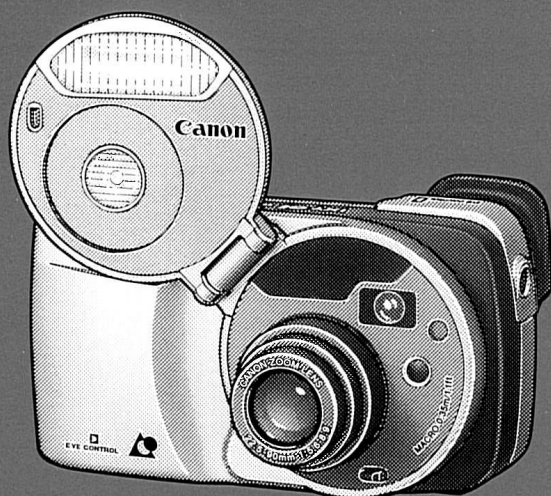


Canon

IXY G E



はじめに

基本編

活用編

応用編

資料編


ADVANCEDTM
PHOTO SYSTEM

J

日本語版

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。
カメラをご使用の前にこの使用説明書をよくお読みになり、カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使いください。

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

その他の絵表示の例
行為を禁止する記号



禁止



接触禁止

○ 記号は、行為を禁止する内容を告げるものです。

○ の中に具体的な禁止内容が書かれています。

警告 (電池について)



このカメラで指定されていない電池は、使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。また、違うメーカー、違う種類の電池を混ぜての使用はしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

警告（電池について）



電池を火の中に入れてたり、分解、加熱、ショートは絶対しないでください。また、水の中に入れてたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



アルカリ電池、リチウム電池など充電できない電池を無理に充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



電池を取り外した場合は、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、飲み込んだ場合、電池が壊れて電池の液で胃、腸等が冒される恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。



万一、カメラ（電池）が熱くなる、煙がでる、焦げ臭い等の異常状態が起こった場合、そのまま使用すると火災、火傷の原因になります。火傷には、十分注意しながら速やかに電池を取り出し、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。






電池を廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。







電池の「+」と「-」の接点を正しく入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



警告（ストロボについて）

-  ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
-  車の運転者等にむけてストロボを発光しないでください。事故の原因となります。
-  ストロボの発光部分を手や物などで覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、ストロボ部に触らないでください。火傷の原因となります。






警告（その他取り扱いについて）

-  自分でカメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。
-  落下等により、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。
-  カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。
-  カメラは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

警告（その他取り扱いについて）

-  湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電の原因となります。
-  自動車などの運転中に運転者は、カメラを絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。

注意（その他取り扱いについて）

-  カメラ（特に金属製のもの）を高温状態の車の中に放置したり、熱いものの近くに置いたりしないでください。カメラ自体が高温になり、触ると火傷の原因となることがあります。
-  カメラ（特に金属製のもの）を低温状態中に放置したりしないでください。カメラ自体が低温になり、触るとけがの原因となることがあります。
-  カメラをストラップで下げているときは、他の物に引っ掛かったりしないように注意してください。けがをする原因となることがあります。
-  カメラを三脚に取り付けたまま移動しないでください。つけたまま移動するとつまずいたり、ぶついたりしてけがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラ・レンズに対して十分に強度のあるものをご使用ください。
-  万一、カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて、速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



アドバンスド フォト システム Advanced Photo System

このカメラはAdvanced Photo System (以下新システムと呼ぶ) 対応のカメラです。この新システムとキヤノンの先進の小型化技術により、従来のカメラよりさらに小型の4倍ズームカメラを実現させました。

新システムの特に新しい特長をご紹介します。

①新・フィルム

新フィルム「IX240カートリッジフィルム」はリーダー部分のない小型「カートリッジ」を使用。これにより今までわずらわしかったフィルムの装填が、誰にでも手軽に行えるようになりました。

また、フィルムが未使用 (○) か撮影済 (☒)、もしくは現像済 (□) かどうか使用状態マーク面の使用状態マークによって見分けることができます

★このカメラで撮影したカートリッジは、撮影途中 (D) のマークにはなりません。

使用状態マーク

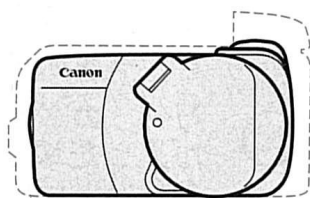


- 未使用
- D 撮影途中
- ☒ 撮影済
- 現像済

使用状態マーク面

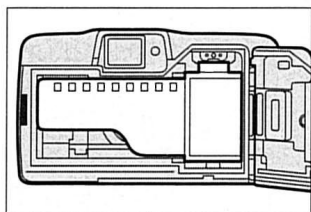
②新・カメラサイズ

新システムによってカートリッジフィルムのサイズが小型になり、カメラ本体も従来のカメラより、さらに小型になりました (当社比)。特にこのカメラのサイズはキヤノンの小型化技術により実現したものです。

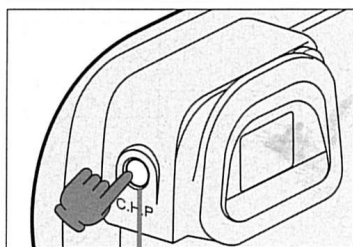
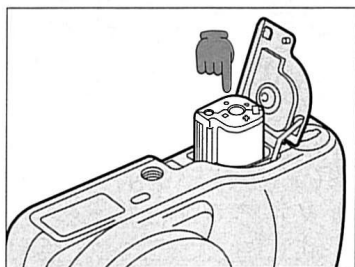


従来の2.5倍ズームカメラ

新システム早わかり 詳しくは説明のページを



従来のフィルム装填



プリントタイプ
切り換えボタン



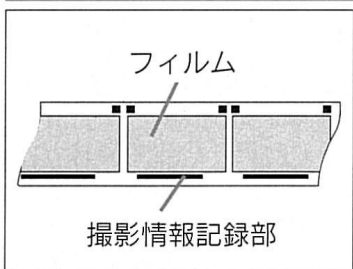
Cタイプ



Hタイプ



Pタイプ

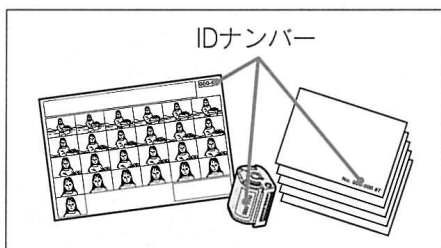


フィルムに記録される情報例

- ・日付やタイトル
 - ・プリントタイプ/フィルムの送り方向
 - ・ストロボON/OFF
 - ・写したものの明るさ
 - ・撮影倍率
 - ・順光逆光
- など



認定店のマーク



ご覧ください。

はじめに

① カートリッジフィルムの装填はワンタッチです。

→18ページ

- 従来の135 (35mm) フィルムのように背ぶたを開けて、フィルムのリード部分を引き出したりするなどの面倒な準備は必要ありません。

② プリントタイプ切り換えボタンでプリントタイプを選べます。

→24ページ

→プリントタイプが3つ選べます。

- 従来と同じCタイプ
- ワイドなHタイプ
- パノラマのPタイプ

③ 撮影時の状況などの情報 (IX情報) がフィルムに記録されます。

- フィルムには左に挙げたような情報が撮影時に磁気記録されます。
- 現像・プリント店は、これらの情報を読みとってプリントするため、従来の135 (35mm) フィルムより高品質なプリントが可能です。

④ 撮り終わったカートリッジは、左のマークがある認定店で現像できます。

→31ページ

→現像後、写真とインデックスプリント、ネガの入ったカートリッジが返却されます。

- 認定店で焼き増しをするときは、インデックスプリントまたはプリントの裏面のIDナンバーと同じカートリッジを出し、焼き増しする写真を番号で指定します。

目次

●本書の構成

この使用説明書は、はじめに、基本編、応用編、活用編、資料編と段階的に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は「はじめに」から順にお読みください。

■本文中のマークについて







カメラを操作するうえで知っておいていただきたい事項が書かれています。







はじめに

安全上のご注意	2
Advanced Photo Systemの特長	6
新システム早わかり	8
目次	10
操作早わかり	12
各部の名称	14
ストラップ・ケースの取り付けと使い方	16
カメラの構え方	17

基本編

①カートリッジを入れる	18
②電源を入れる	20
電池をチェックする	21
③ダイヤルを AUTO に合わせる	22
④ファインダーをのぞく	23
視度補正について	23
⑤プリントタイプを切り換える (C/H/P)	24
⑥写したいものの大きさを決める	25
⑦シャッターを切る	26
AFフレームと合焦点表示について	27
パララックス自動補正について	28
緑ランプ/オレンジランプについて	29
⑧カートリッジを取り出す	30
現像・プリントに出すには	31
撮影後のカートリッジの取り扱い等について	31
⑨電池を交換する	32

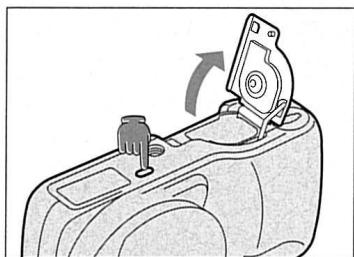
フォーカスロック撮影 (写したいものをファインダーの端に置いて撮影する) ……	33
ベストショットダイアルを使った撮影 ……	34
SPOT 極端に明るいもの、暗いものを撮る(スポットマーク) ……	35
 動いているものを撮る(アクションマーク) ……	36
 夜景をバックに人物を撮る(夜景マーク) ……	37
 近づいて大きく撮る(クローズアップマーク) ……	38
 人物をアップで撮る(ポートレートマーク) ……	39

←  視線入力を使った撮影 ……	40
広角端/望遠端ズームモード ……	42
プリントタイプ切り換えモード ……	43
ズーム・プリントタイプ切り換えモード ……	44
個人の視線を登録する(キャリブレーション) ……	46
視線入力ワンポイントガイド ……	48
日付/時刻を記録する ……	50
各モード内の切り換えについて ……	51
日付/時刻を設定・修正する ……	52
タイトルを記録する ……	53
各言語のタイトルを選ぶ ……	54
ストロボモードを変える ……	55
赤目緩和撮影機能について ……	56
①ストロボオート/赤目緩和なし ……	57
②ストロボオート/赤目緩和  ……	58
(暗いときは自動的に赤目緩和ランプを点灯し、ストロボを発光させる) ……	58
③ストロボONモード  (明るい場所でストロボを発光させる) ……	59
④ストロボOFFモード  (暗い場所でもストロボを発光させない) ……	60
⑤ストロボOFF・手動露出補正モード +1.5 -1.5 (手動で露出補正をする) ……	61
⑥スローシンクロ/赤目緩和   (暗い場所で背景まで写し込む) ……	62
セルフタイマー撮影 ……	63
リモコンを使った撮影 ……	64
リモコンの電池交換 ……	65

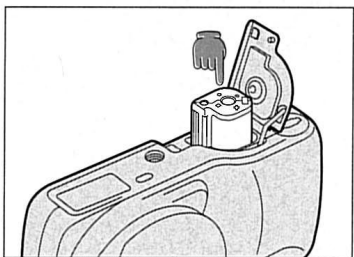
フィルム感度と最大撮影枚数の確認の方法 ……	66
一点測距の設定について ……	66
AiAF機能について ……	67
ガラス越しの撮影について ……	67
こんなときは ……	68
Q&A ……	69
主な仕様 ……	70
アフターサービスについて ……	裏表紙

操作早わかり

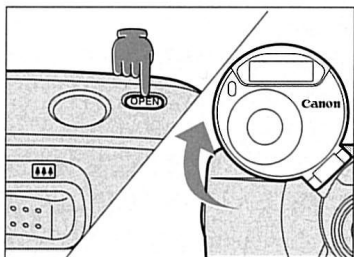
詳しくは説明のページをご覧ください。



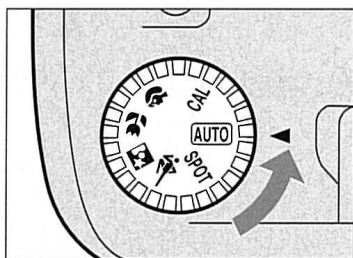
- 1 カメラ底面のカートリッジ室ふた開閉ボタンを押す。** →18ページ
➔カートリッジ室ふたが自動的に開きます。



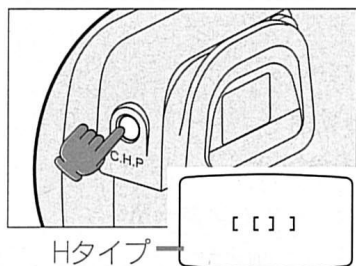
- 2 カートリッジを入れる。** →18ページ
- カートリッジのマークが○(未使用)であるかどうかを確認してください。
 - ➔カートリッジを軽く押し込んでください。カートリッジが引き込まれ、ふたが自動的に閉じます。



- 3 レンズカバー開ボタンを押す。** →20ページ
- ➔レンズカバーが開き、電源が入ります。
 - 電源を切るときはレンズカバーを手で閉じます。



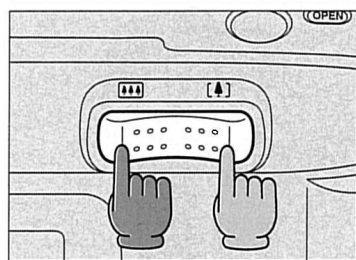
- 4 ベストショットダイヤルをAUTOに合わせる。** →22ページ



- 5 プリントタイプ切り換えボタンでプリントタイプを決める。

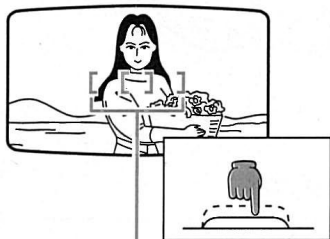
→24ページ

→ファインダーの画面が切り換わります。



- 6 ズームボタンを押して、写したいものの大きさを決める。

→25ページ



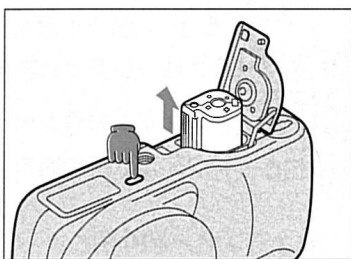
AFフレーム

- 7 AFフレームを合わせ、シャッターボタンを押す。

→26ページ

→シャッターが切れます。

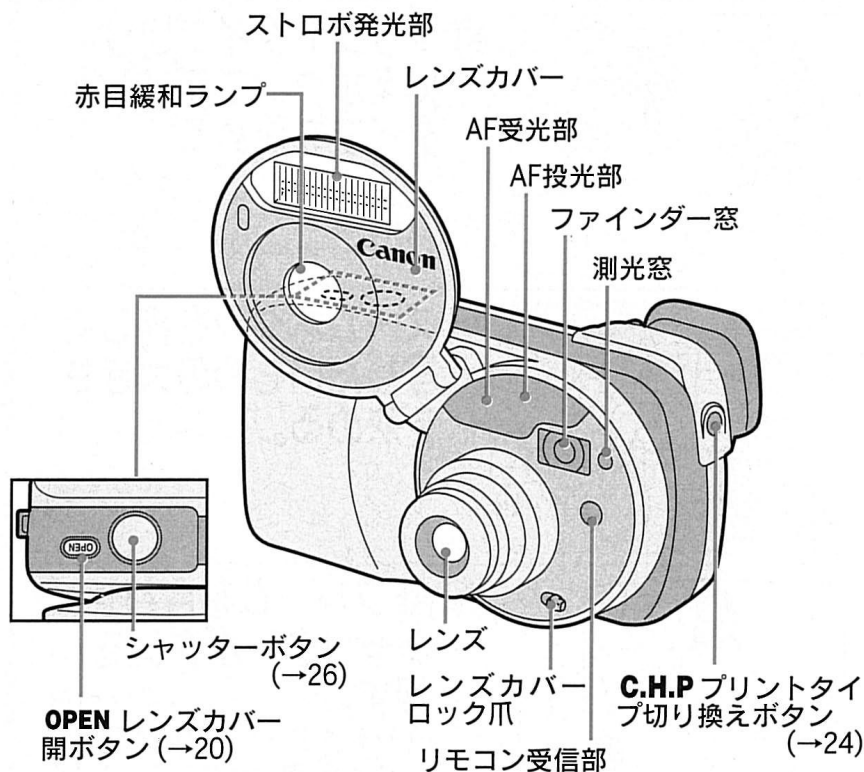
→逆光や暗い所ではストロボが自動的に発光します。



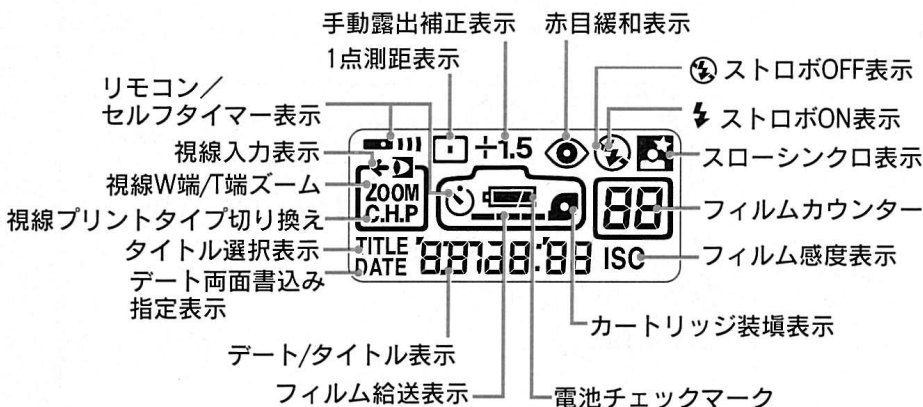
- 8 撮影が終わり、フィルム巻き戻しが終わったら、カートリッジ室ぶたを開ける。

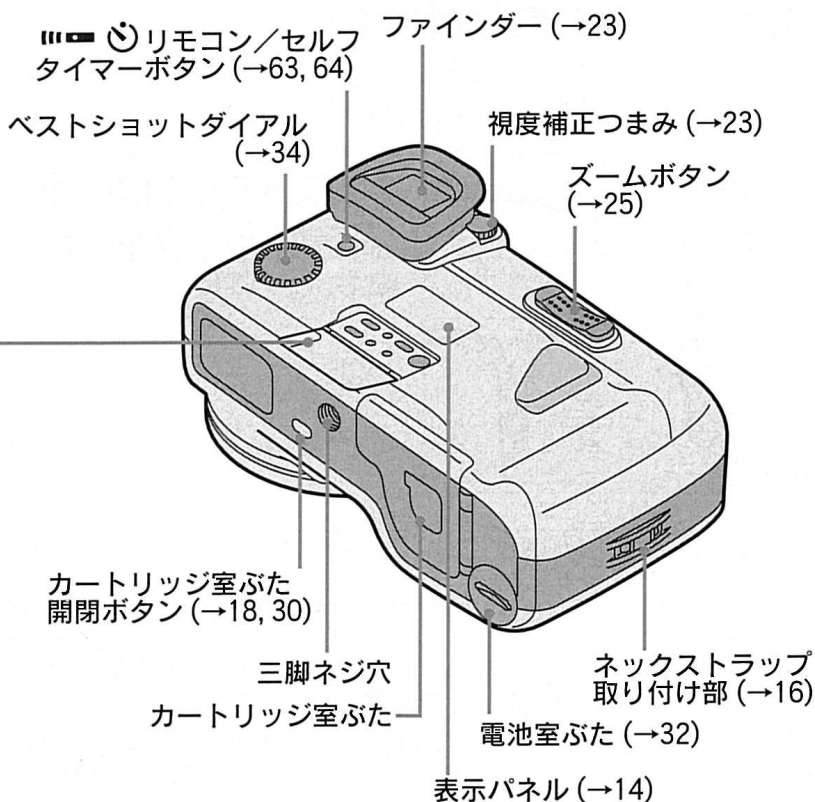
→30ページ

各部の名称 (→■) は、参照ページです。

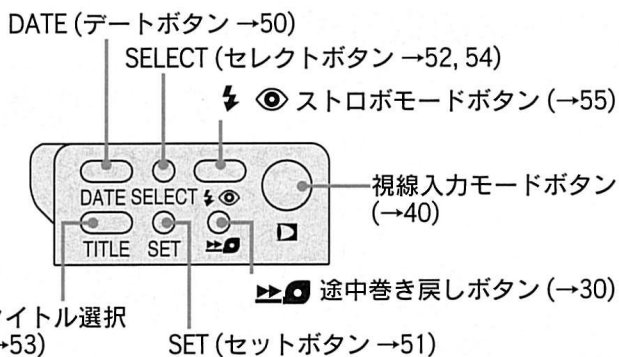


表示パネル (通常は必要な情報だけが表示されます)





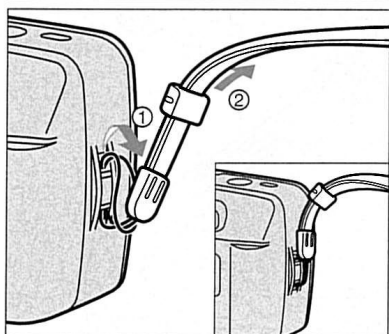
スイッチカバー



ストラップ・ケースの取り付けと使い方

ストラップの取り付け方

カメラを落とさないように、付属のストラップをカメラに取り付けて使用してください。

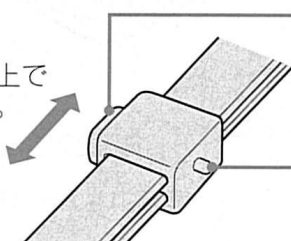


左のストラップ取り付け部にストラップを通す。

- ①～②の順に通します。

ストラップ止め具の突起について

ストラップ上で動かせます。



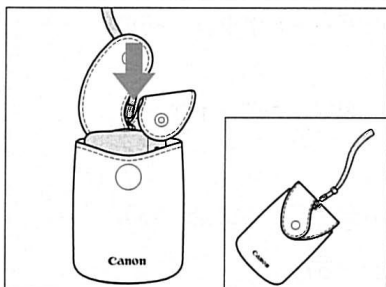
電池室ふた開閉突起 (大突起)
(→32ページ)

- 電池室ふたを開閉するとき
に使用します。

ボタン押し突起 (小突起)
(→30, 51, 52ページ)

- スイッチカバー内の小さなボタンを押すときに使用します。

カメラケースの取り付け方



ケースのカバーを開け、カメラを入れる。

- カバーの穴にストラップを通します。
- ケース内側のポケットにリモコンを収納できます。

カメラの構え方

シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。

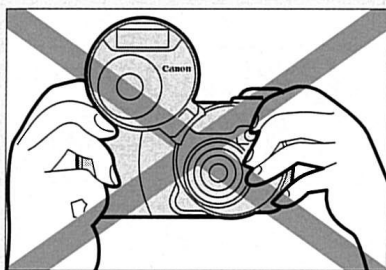


よこ位置



たて位置

- 両手でカメラを持ちます。
- ひじを体に軽くつけます。
- カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。



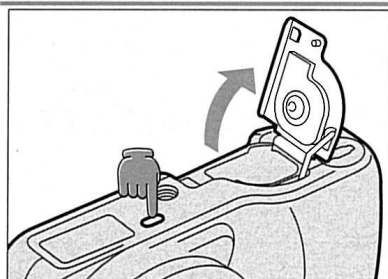
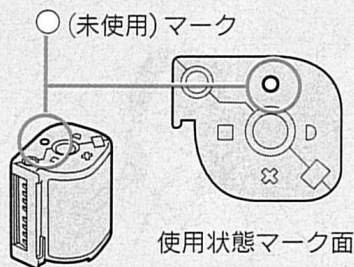
- カメラを構えるときは、レンズ、AF投・受光部、測光部、ストロボなどにストラップ、髪や指がかからないように注意してください。
- AF投・受光部やレンズが汚れていると写りが悪くなりことがあります。汚れは乾いた布などできれいにふき取ってから撮影をしてください。



1 カートリッジを入れる

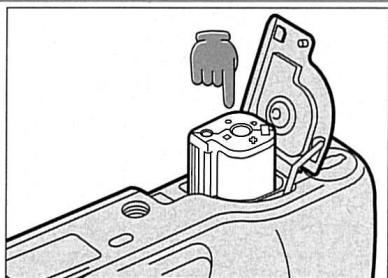
カートリッジフィルムについて

- IX240カートリッジフィルムをご使用ください。従来の135(35mm)フィルムは使用できません。
- カートリッジの使用状態マークが○(未使用)であるものをご使用ください。
- 認定店で現像・プリントができます。(→31ページ)



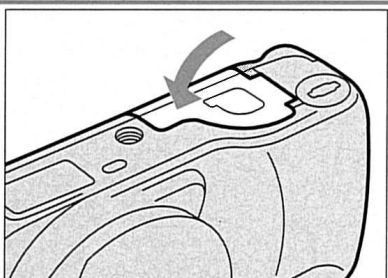
1 カートリッジ室ぶた開閉ボタンを押す。

- ➔ カートリッジ室ぶたが自動的に開きます。
- カートリッジ室ぶたは開けたまま約30秒たつと、自動的に閉じます。



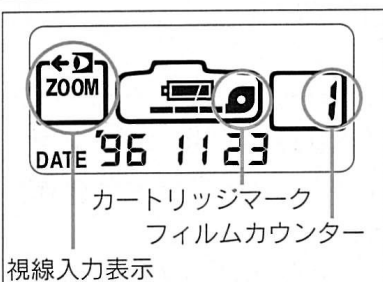
2 新しいカートリッジを軽く押し込む。

- カートリッジの使用状態マーク面が見えるようにして入れます。



3 自動的にカートリッジが引き込まれ、カートリッジ室ぶたが閉じる。

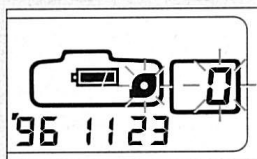
- ➔ 表示パネルのカートリッジマークが点灯します。



- ④ 自動的にフィルムが送られフィルムカウンターに「1」が表示される。

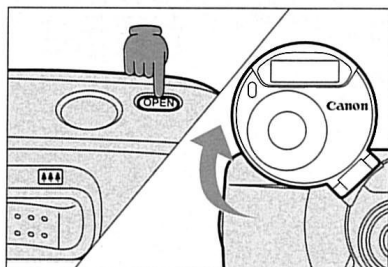


- このカメラは D (撮影途中) のカートリッジは使用できません。D (撮影途中) のカートリッジを入れると、そのカートリッジは ☹ (撮影済) になり、それ以上撮影できなくなります。
- D、☹ や □ (未使用以外) のカートリッジを入れると、フィルムカウンターの「0」とカートリッジマークが点滅し、☹ (撮影済) になって出てきます。
- ◀ D このカメラは視線入力ONの状態です。詳しくは40ページ「視線入力を使った撮影」をご覧ください。



2 電源を入れる

レンズカバー開ボタンを押すと自動的にレンズカバーが開き電源が入ります。



レンズカバー開ボタンを押し、レンズカバーを開ける。

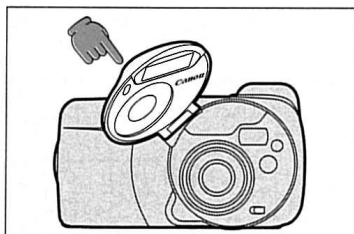
→レンズがセットされます。



- レンズカバーは手で開けないでください。
- 電源を入れるとレンズは、はじめ38mmにセットされます。

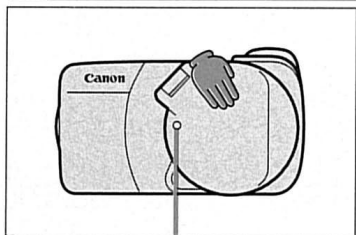
電源を切るには

レンズやストロボを保護するために、撮影が終わったら電源を切ってください。



1 レンズカバーをレンズに触れない程度閉じる。

→レンズカバーを閉じはじめると、レンズが収納されます。




2 レンズが収納されたのを確認したら、レンズカバーを閉じる。

→電源が切れます。

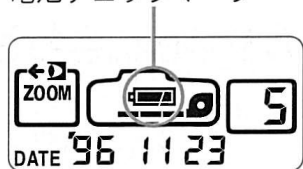
● ストラップなどをはさみ込まないように注意してください。


レンズカバーストッパー


電池をチェックする


電源を入れたとき表示パネルに  が表示されていることを確認してください。

電池チェックマーク



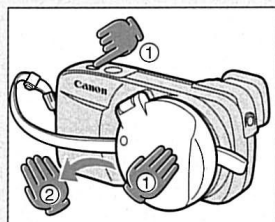
 (点灯) …… 電池の容量は十分です。

 (点灯) …… 新しい電池を用意してください。

 (点滅) …… 新しい電池と交換してください。
(→32ページ)



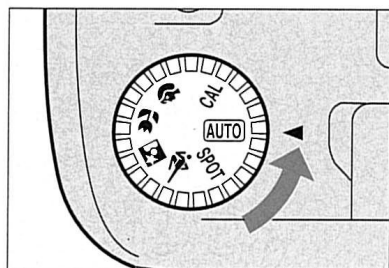
- 電池はリチウム電池CR2タイプを2個使用します。
- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- 旅行のときや、写真をたくさん撮られるときは、予備の電池をご用意ください。特に海外では電池の入手が困難なことがあります。
- 新品電池の寿命は、25枚撮りカートリッジで約14本(ストロボ50%使用時/当社試験条件による)が目安です。
- ストロボ発光直後には電池の能力が一時的に低下し、正しい表示が出ない時があります。一度電源を切り、しばらく待ってから電源を入れ直してください。
- ストラップをレンズカバーにはさみ込んだときは、レンズカバーを手で押さえながらレンズカバー開ボタンを押し①、同時にレンズカバーから手を離してください②。



3 ダIALを **AUTO** に合わせる

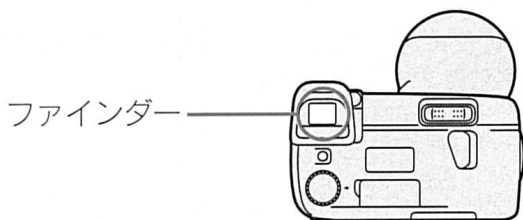
ダイヤルを **AUTO** にすると全自動撮影になります。
中抜けしにくいAiAF機能ですからすべての焦点距離 (22.5～90mm) で構図優先の撮影ができます。
また暗いところや逆光の時は自動的にストロボが発光します。

AiAF機能について →67ページ



ダイヤルを **AUTO** に合わせる。

4 ファインダーをのぞく



ファインダー内の名称 (通常は必要な情報だけが表示されます)

ベストショットインジケータ

ベストショットダイアルで、AUTO以外のマークを選択すると表示されます。(→34ページ)

AFフレーム

写したいものにこのフレームを合わせてピントを合わせます。(→26ページ)

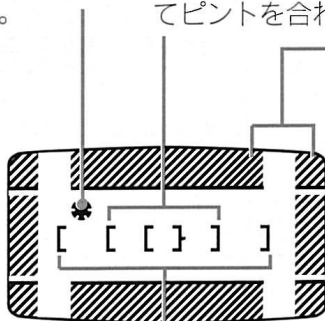
C/Pタイプマスク

C/Pタイプのプリントタイプを選択すると表示されます。(→24ページ)

緑ランプ

視線入力ガイド

オレンジランプ



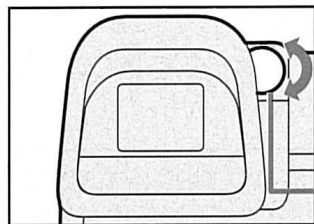
視線入力ガイド
視線入力を行うときに使用します。(→42ページ)

合焦点/視線入力

キャリブレーション表示

キャリブレーションの設定を行うときに使用します。(→46ページ)

視度補正について

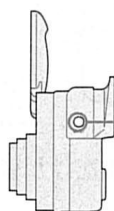


ファインダーの像がぼやけて見える場合は、視度補正つまみを回して、はっきりと見えるように調整してください。

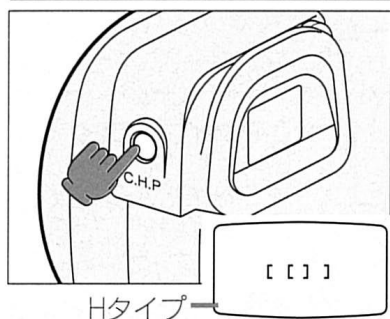
視度補正つまみ

5 プリントタイプを切り換える

このカメラでは、Cタイプ、Hタイプ、Pタイプの3種類のプリントタイプを選ぶことができます。



C.H.P. プリントタイプ切り換えボタン



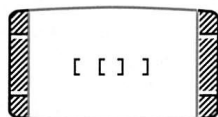
Hタイプ

プリントタイプ切り換えボタンでプリントタイプを切り換える。

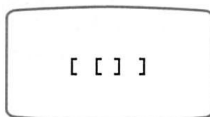
- ➔ ファインダーが切り換わります。
- 一枚毎に途中切り換え可能です。

プリントタイプ切り換えボタンを押すごとに、ファインダーの画面タイプが変わります。

Cタイプ



Hタイプ



Pタイプ



写したいものに合わせ、お好みのプリントタイプを選びます。



● 視線入力を使って、プリントタイプの切り換えをすることもできます。(→43ページ)

6 写したいものの大きさを決める

ズームボタンで、写したいものの大きさを定めることができます。



【AAA】 広角 (22.5mm)

風景や集合写真など広い範囲を撮影するときに使用します。

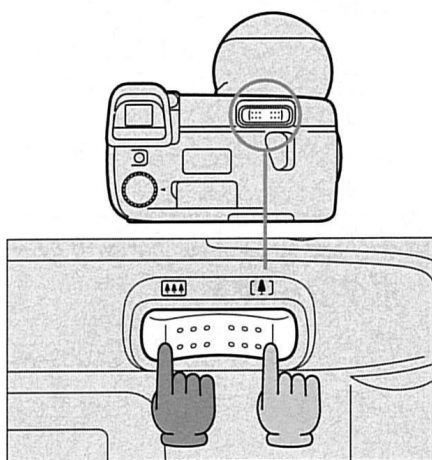


【▲】 望遠 (90mm)

人物のアップなど写したいものを大きく撮影するときに使用します。

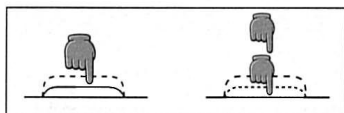
ズームボタンを押す。

→ 右を押すと望遠側に、左を押すと広角側にズームします。

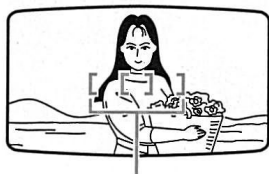


- 電源を入れるとレンズははじめ38mmにセットされます。
- レンズが望遠側に繰り出されたまま約4分放置されるとレンズ保護のため自動的に収納され、広角側にセットされます。
- ズーム中は鏡筒に触れないでください。
- 視線入力を使って、広角端または望遠端にズームさせることもできます。(→42ページ)

7 シャッターを切る



シャッターボタンは2段階になっています。軽く押すとピントが合い、そのままさらに押すとシャッターが切れます。



AFフレーム

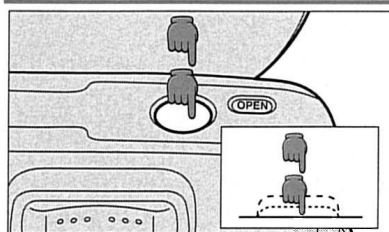
① 写したいものにAFフレームを合わせる。



② シャッターボタンを軽く押す。

➔ 緑ランプが点灯し、ファインダーに合焦点(ピントがあったところ)が表示されます。

● シャッターボタンは押したままにしてください。



③ そのままさらにシャッターボタンを押す。

➔ シャッターが切れます。

● シャッターボタンはゆっくり、静かに押してください。



● 写したいものとの距離によりパララックス自動補正が行われます。(→28ページ)

● 写したいものに合焦点表示がされないときには、シャッターボタンから指を離しAFフレームの範囲で写すものの位置を変え、もう一度シャッターボタンを押してください。

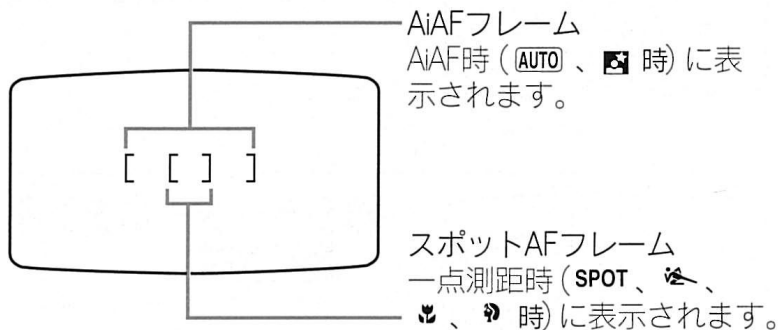
● このカメラは、カートリッジが入っていないときはフィルムの自動巻き上げをしない省電設計になっています。

AFフレームと合焦点表示について

写したいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押すとファインダーに合焦点(ピントの合ったところ)が表示されます。(AiAF機能について →67ページ)

AiAF時に視線入力をONにして、写したいものを注視しながらシャッターボタンを押すと、より正確なピント合わせができます。

AFフレーム名称



合焦点の表示例 (シャッターボタンを軽く押したとき)

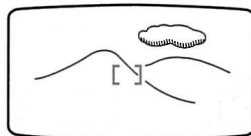
写したい人が
一人のとき



写したい人が
二人のとき

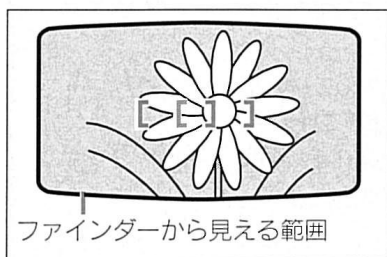


グループ写真・
風景など

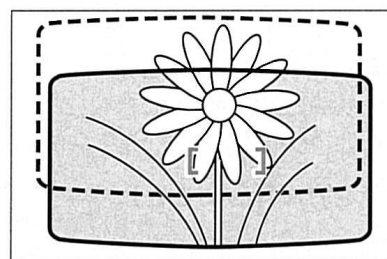


パララックス自動補正について (近距離撮影時のみ)

近距離撮影では、写したいものに近づきすぎると写真の上面が切れてしまうことがあります。これを防ぐために、焦点距離と写したいものとの距離によってカメラが自動的にファインダーの位置を修正します。この機能のことをパララックス自動補正といいます。

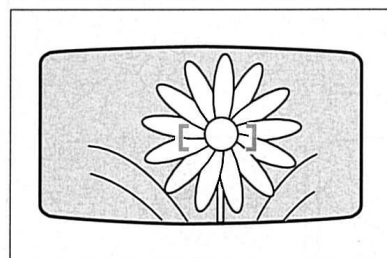


① 写したいものにAF
フレームを合わせる。



② シャッターボタンを
軽く押す。

- ➔ 近距離のとき、ファインダーの位置が変わります。(パララックス自動補正)
- ➔ 「ジツ」という音がします。



③ シャッターボタンを
軽く押したままカメラ
を動かして、位置を
修正する。

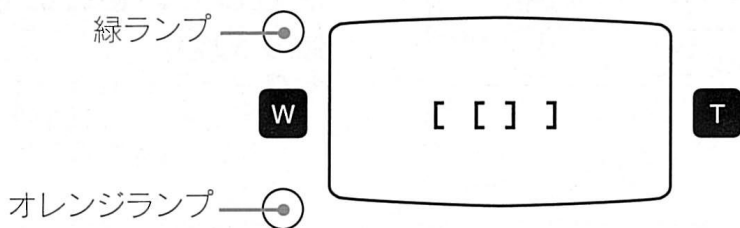
- 写したいものからの距離は変えないでください。



● アクションマークでは、パララックス自動補正は行われません。(→36ページ)

緑ランプ／オレンジランプについて

シャッターボタンを軽く押したときランプの点灯や点滅で撮影の準備を知らせます。



緑ランプ

点灯：撮影準備完了（ピント合わせ完了）

点滅（4回／秒）：近距離警告※1

オレンジランプ

点灯：ストロボ充電完了



点滅（4回／秒）：手ぶれ警告（ストロボOFF時）※2

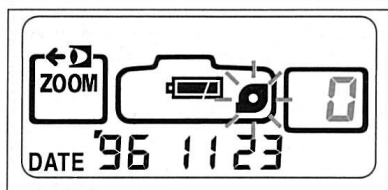
点滅（2回／秒）：ストロボ連写警告（ストロボ発光時）※3





- ※1 ● 近距離警告が出たら、点滅しない距離まで離れてシャッターボタンを押し直してください。
- ※2 ● 手ぶれ警告が出たら三脚などの使用をおすすめします。
- ※3 ● ストロボで連写したとき、ストロボが必要以上に熱くならないための警告です。この警告中は、シャッターが切れません。しばらく待ってからお使いください。

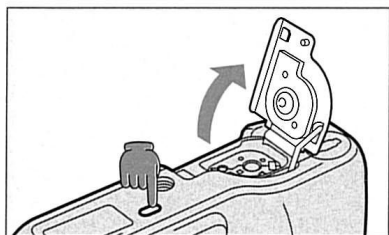
8 カートリッジを取り出す

フィルムを最後まで撮り終わると自動的にフィルムが巻き戻ります。巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。巻き戻し完了は  マークの点滅でお知らせします。 マークの点滅を確認してから、カートリッジを取り出してください。



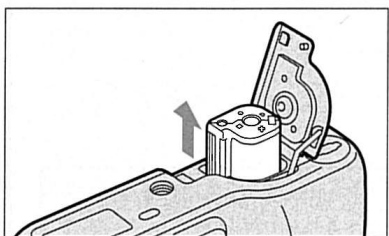
1 カートリッジマークが点滅していることを確かめる。

-  マークが点滅していないときはフィルム途中巻き戻しボタン  を押してください。




2 カートリッジ室ぶた開閉ボタンを押す。



- カートリッジ室ぶたが開き、カートリッジが自動的に押し出されます。
- ➔ 表示パネルのカートリッジマークが消えます。

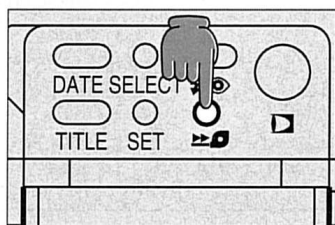


3 カートリッジを取り出す。

- ➔ カートリッジの使用状態マークが  (撮影済) になります。

フィルムを撮り終える前に取り出すには

- フィルム途中巻き戻しボタン  を押します。
- ➔ カートリッジの使用状態マークは  (撮影済) になります。



現像・プリントに出すには

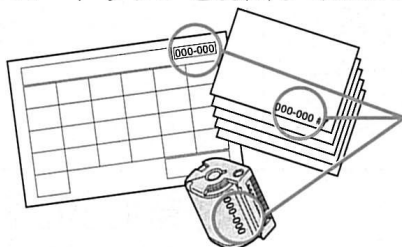
- 店頭で右のマークがある認定店に出すと現像・プリントができます。
- ★認定店では以下のサービスを受けることができます。
 - ①カートリッジ入りネガの返却
 - ②3種類のプリントタイプ
 - ③インデックスプリントの作成
 - ④プリント品質の向上
 - ⑤日付・タイトルの裏印字



現像プリントサービス
認定店

撮影後のカートリッジの取り扱い等について


- 認定店で焼き増しをするときは、焼き増しをしたい写真の裏面、またはインデックスプリントに書かれているIDナンバーとカートリッジのIDナンバーが同じかどうかを確認の上、カートリッジをお出してください。

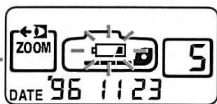
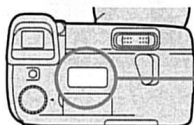


IDナンバー

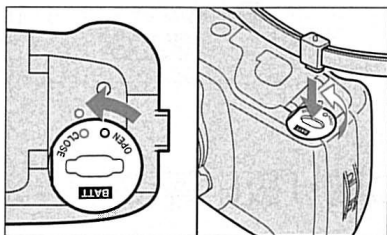
- 現像後に返却されるカートリッジとインデックスプリントは大切に保管してください。
- このカメラはフィルムを全枚数撮影しても、途中で巻き戻しても、使用状態マークが☑(撮影済)になります。
- 現像が終わったカートリッジの使用状態マークは□(現像済)になります。
- (未使用)以外のカートリッジは、このカメラで使用することはできません(カメラに入れるとすべて☑(使用済)マークになって出てきます)。
- カメラやカートリッジをテレビやスピーカーなど、強い磁力を発生する機器に近づけないでください。

9 電池を交換する

表示パネルに  が点滅したときは、新しい電池と交換してください。(→21ページ)

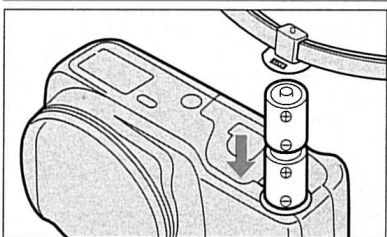


[使用電池]
リチウム電池CR2タイプ
3V 2個使用



1 電池ぶたを開く。

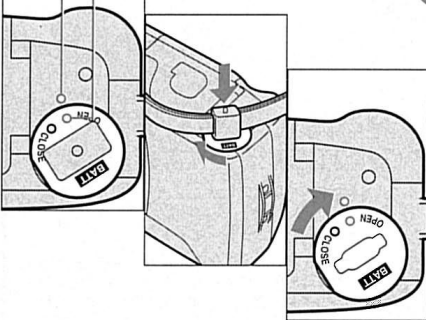
- 電池ぶたを開閉する際は必ずストラップ止め具の電池室ぶた開閉突起(大突起)を使用してください。
- ストラップ止め具の大突起を電池ぶたの溝にはめこみ、左へ約30°回します。




2 新しい電池を入れる。

- 十を正しく合わせて2本とも新しい電池を入れます。

指標 Open指標

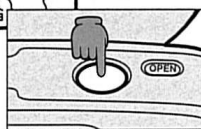
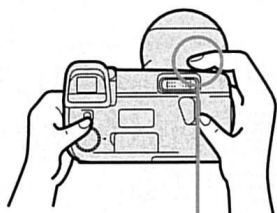


3 電池ぶたを閉じる。

- 本体の指標に電池ぶたのOpen指標を合わせ、押し込みながら右へ約30°回します。
- ➡ 表示パネルに  が表示されます。
- ➡ 電池交換でデータがリセットされますので、日付と時刻を設定し直してください。(→52ページ)

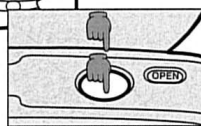
フォーカスロック撮影

写したいものをファインダーの端において撮影するときは、フォーカスロック撮影をします。



① 画面中央に写したいものを置き、シャッターボタンを軽く押す。

- ➔中央にピントが合うとスポットAFフレームと緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンは軽く押したままにしてください。



② 軽く押したまま構図を決め、さらにシャッターボタンを押す。

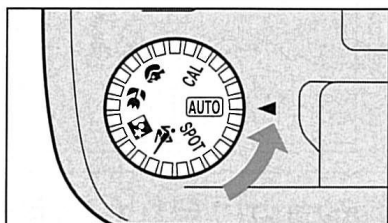
- ➔シャッターが切れます。



- 写したいものとカメラの距離が変わらないようにご注意ください。距離が変わったときは、やり直してください。
- ~~アクションマーク~~時はフォーカスロック撮影はできません。

ベストショットダイヤルを使った撮影

写したいものに合わせてダイヤルを回すだけで自動的に最適なAFモード、ストロボモードなどがセットされ、手軽に良い写真を撮ることができます。

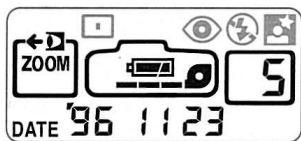


ダイヤルを回して
写したいもののマークに
合わせる。

→表示パネルで機能確認できます。

パネル表示について

ダイヤル毎の表示の組み合わせは70, 71ページをご覧ください。



パネル表示	名称	機能の説明
	赤目緩和表示	ストロボ撮影時、約1秒間赤目緩和ランプが点灯後、シャッターがきれます。
	ストロボOFF表示	ストロボは発光しません。
	ストロボON表示	ストロボが発光します。
	スローシンクロ表示	ストロボが発光し、シャッタースピードは遅くなります。
	1点測距表示	中央部1点にピントが合います。

※ベストショットインジケータについて

ダイヤルが **AUTO** 以外のマークにセットされていることを確認するマークです。


●ダイヤルを **AUTO** に合わせるとインジケータは消えます。

SPOT 極端に明るいもの、暗いものを撮る... スポットマーク



ファインダーの中央部にピントと露出を合わせるときに効果的です。




表示パネルに  が表示されます。



撮影のポイント

- スポットAFフレームに写したいものを合わせて撮影してください。
- スポットライトに照らされた人物やスキー場の人物などコントラストの強いときに、写したいものだけをきれいに撮ることができます。



-  が表示されているときはストロボ発光時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターがきれいです。(→56ページ)
- スポットマークでは逆光時の自動露出補正を行いません。

🏃 動いているものを撮る アクションマーク



動いているものを撮るのに効果的な機能です。
動きのあるものに連動してピントを合わせるサーボオートフォーカスと、連続撮影ができる連写機能がセットされます。



表示パネルに□が表示されます。



撮影のポイント

- シャッターボタンを軽く押しながら、スポットAFフレーム①を動くものに合わせて追いつけます。シャッターチャンスがきたら、さらにシャッターボタンを押してください。
- シャッターボタンを軽く押し続けると約20秒間ピントが合い続けます(緑ランプは点灯しません)。
- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影ができます。



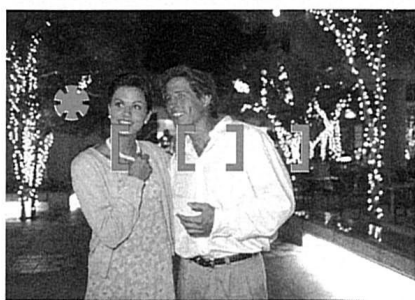
- 暗いときや逆光のときは、自動的にストロボが発光します。
- シャッターチャンスを逃さないように赤目緩和機能ははたらきません。
- ファインダーのパララックス自動補正は行いません。

ベストショットダイアルを使った撮影

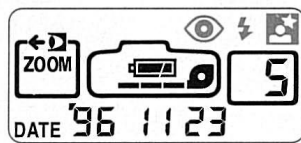
夜景をバックに人物を撮る ... 夜景マーク



夜景をバックに人物を撮るのに効果的な機能です。
ストロボで人物を写し、同時に4秒までの低速のシャッター速度で夜景を写し込みます。



表示パネルに◎と
⚡と📷が表示され
ます。



活用編

夜景だけを撮るときは

- ストロボの発光を止める(🔌)ことにより夜景だけの写真が撮れます。
詳しくは60ページをご覧ください。

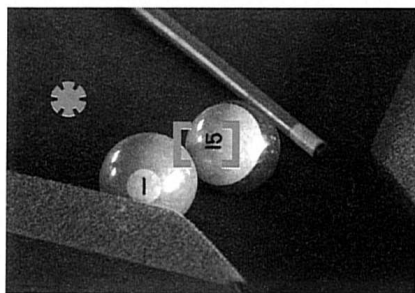


- ◎が表示されているときはストロボ発光時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターがきれます。(→56ページ)
- このマークでは手ぶれの警告表示は出ません。シャッター速度が遅く(最長約4秒)なりますので、必ず三脚などを利用し、カメラを固定してください。また、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにしてください。
- 撮影条件によっては全自動モードで撮影した方がきれいな写真が撮れる場合がありますので、夜景モードと全自動モードの両方で撮影しておくことをおすすめします。

近づいて大きく撮る クローズアップマーク



草花など身近なものを大きく撮るのに効果的な機能で、0.35mまで近づいて撮影することができます。焦点距離が46mmに固定となり、ズーム操作はできません。



表示パネルに□が表示されます。



- 0.35mから∞まで撮影できます。暗いときや逆光のときは、ストロボが自動的に発光します。
- 0.9m以内の撮影をするときは、パララックス自動補正されます。(→28ページ)
- 視線入力によるズーム操作はできません。

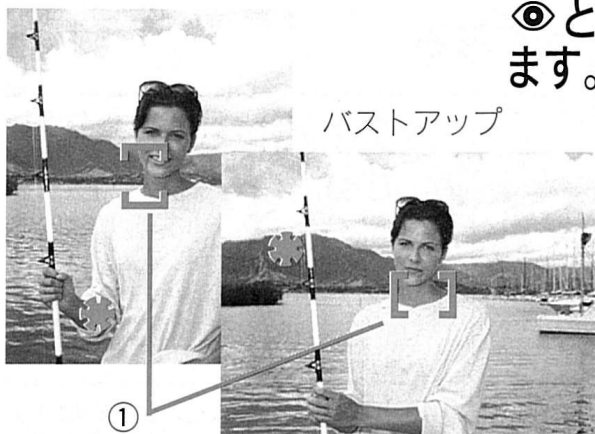
ベストショットダイアルを使った撮影

人物をアップで撮る ポートレートマーク



人物をアップで撮るのに効果的な機能です。人物の上半身が入るように自動的にズーミングし、目に輝き(キャッチライト)が入るように常にストロボが発光します。

ウエストアップ



バストアップ

表示パネルに☐と
👁️と🔦が表示され
ます。



活用編

撮影のポイント

●人物にスポットAFフレーム①を合わせて撮影してください。



- 👁️が表示されているときは赤目の出やすい暗さになると赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターがきれます。(→56ページ)
- 写したいものから1~3.5mの範囲で自動的にズーミングします。また、自動的にズーミングした後、ズーム調整することができます。
- ポートレートモードでは、Cタイプ、Hタイプでの撮影を前提に撮影範囲を設定していますので、Pタイプでの撮影はおすすめできません。

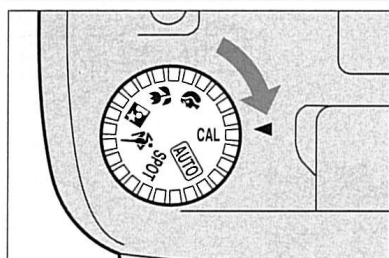
視線入力を使った撮影

視線入力とは

視線入力とは目がファインダーのどこを見ているかをカメラが自動的に判断し、見つめるだけでいろいろな操作ができる機能です。

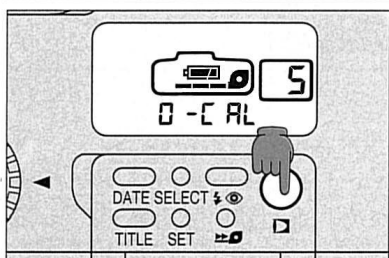
視線入力ではボタンの操作なしで、ファインダーをのぞいたままズーム操作（広角端／望遠端）とプリントタイプの切り換えができます。

視線入力を使ってみる



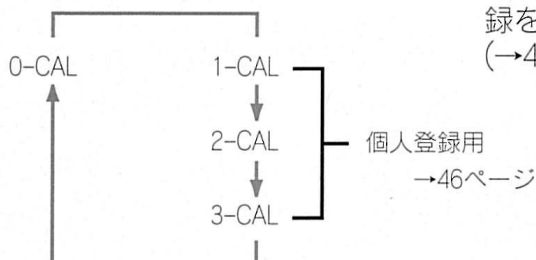
① ダイアルをCALに合わせる。

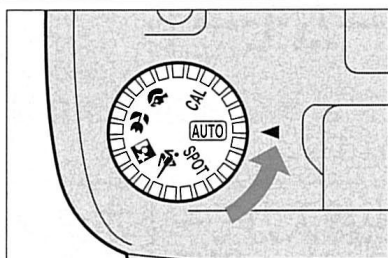
- レンズカバーは開けてください。



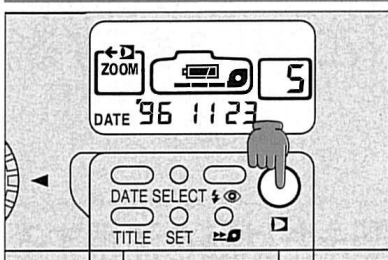
② 視線入力モードボタンを押し、表示パネルに0-CALを表示する。

- CAL表示は以下の順に切り換わります。
- 0-CALで視線入力がうまくいかないときは、視線の登録をしてください。
(→46ページ)



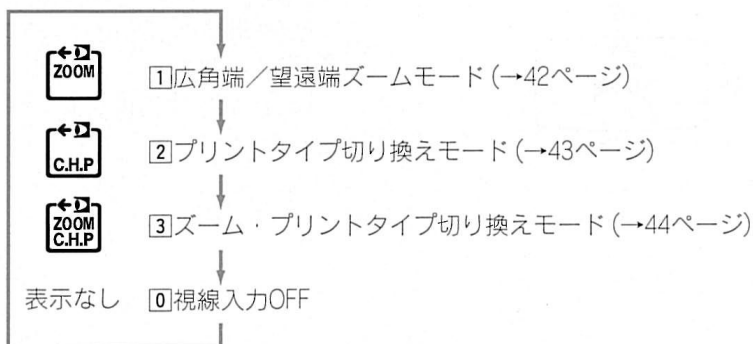


- ③ ダイアルを好みのマークに合わせる。



- ④ 視線入力モードボタンを押し、視線入力モードを選ぶ。
→視線入力モードが切り換わります。

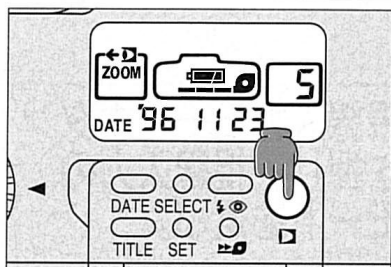
視線入力モードの切り換え



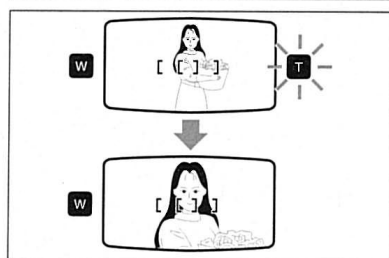
- 視線入力は必ずシャッターボタンを押さずに行ってください。シャッターボタンを押したままでの視線入力できません。
- 約2分間カメラを放置すると視線入力の動作がOFFになります。再び使用するには一度シャッターボタンを軽く押してください。
- 視線入力はカメラをよこ位置に構えて行ってください。たて位置での視線入力できません。

1 広角端／望遠端ズームモード

視線入力ガイドを注視することによって、広角端または望遠端へズームさせることができます。



- 1 視線入力モードボタンを押し、表示パネルに「ZOOM」を表示する。
 →ファインダーに視線入力ガイド(W・T)が表示されます。



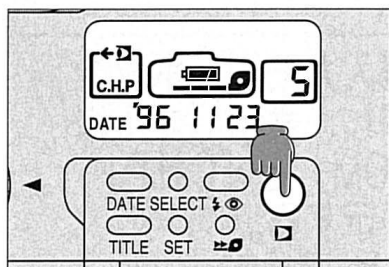
- 2 WまたはTを注視する
 →注視した視線入力ガイドが点滅したあと、広角端または望遠端へズームします。
 ●視線入力ガイドが点滅し終わるまで注視し続けてください。



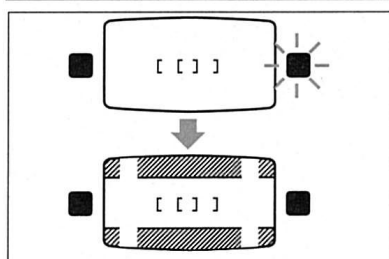
- レンズが広角端または望遠端の場合は、そのズーム端の表示が消えています。
- ズームボタンでもズーム操作を行うことができます。
- ④ ポートレートマークでは自動的にズームした後に視線入力の操作を行ってください。
- ⑤ クローズアップマークではズーム固定のため視線入力を使ったズーム操作はできません。

2 プリントタイプ切り換えモード

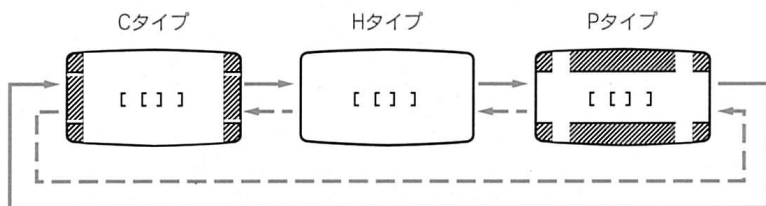
視線入力ガイドを注視することによって、3つのプリントタイプを切り換えることができます。



- 1 視線入力モードボタンを押し、表示パネルに「C.H.P」を表示する。



- 2 右または左の視線入力ガイドを注視する
→ 視線入力ガイドが点滅したあと、プリントタイプが切り換わります。



————→ : 右の視線入力ガイドを注視した場合

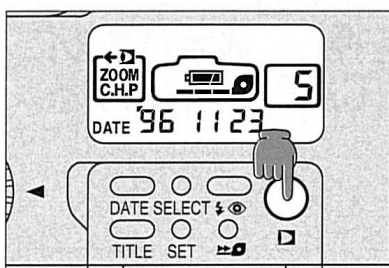
-----← : 左の視線入力ガイドを注視した場合



● 視線入力ガイドを見続けても、プリントタイプは連続で切り換わりません。連続で切り換えたい場合は一度視線を離して、もう一度視線入力ガイドを注視してください。

3 ズーム・プリントタイプ切り換えモード

視線入力ガイドを注視することによって、ズーム操作とプリントタイプの切り換えを組み合わせる操作をすることができます。



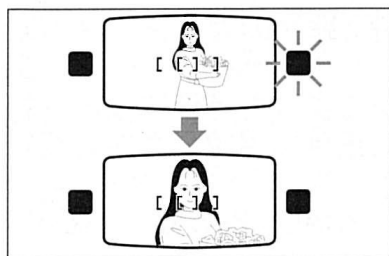
視線入力モードボタンを押し、表示パネルに「ZOOM」と「C.H.P」を表示する。

● **W**・**I** は表示されません。



- 視線入力ガイドを見続けても、プリントタイプは連続で切り換わりません。連続で切り換えたい場合は一度視線を離して、もう一度視線入力ガイドを注視してください。
- **W** クローズアップマークではズーム固定のため視線入力を使ったズーム操作はできません。

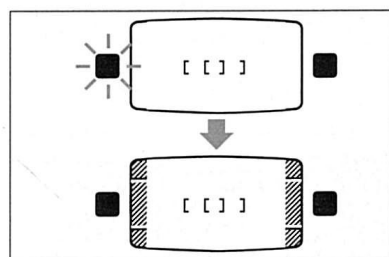
広角端／望遠端へズームさせる



右の視線入力ガイドを注視する

- ➡ 視線入力ガイドが点滅したあと、望遠端にズームします。
- 望遠端の時にのみ広角端へズームします。
- ズームが終了すると視線入力ガイドが点灯に変わります。

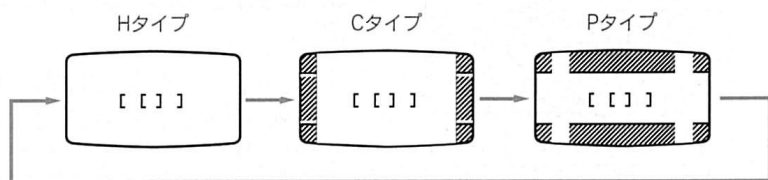
プリントタイプを切り換える



左の視線入力ガイドを注視する

- ➡ 視線入力ガイドが点滅したあと、プリントタイプが下の図の順で切り換わります。

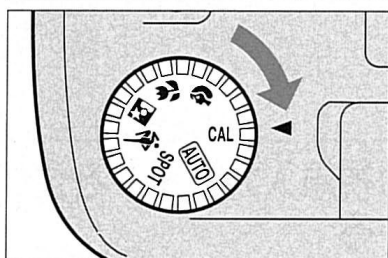
応用編



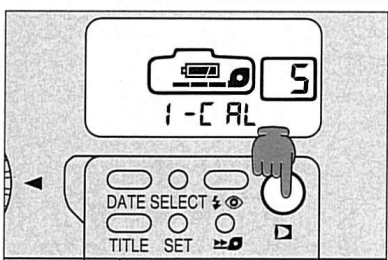
個人の視線を登録する (キャリブレーション)

個人によって微妙に違う目の情報 (瞳孔の大きさ、メガネの有無等) をカメラに登録することをキャリブレーションといいます。キャリブレーションによりカメラに設定されている情報 (0-CAL) よりもさらに正確な視線入力も可能です。

このカメラでは3つの個人情報 (1-CAL、2-CAL、3-CAL) を登録することができます。

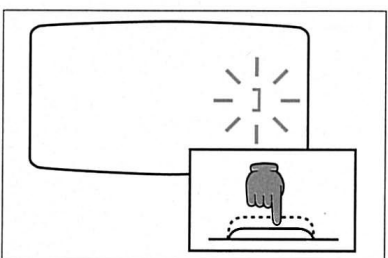


- ① ダイアルをCALに合わせる。



- ② 視線入力モードボタンを押し、1-CAL、2-CALまたは3-CALを選ぶ。

●0-CALは一般用のため、個人情報の登録はできません。

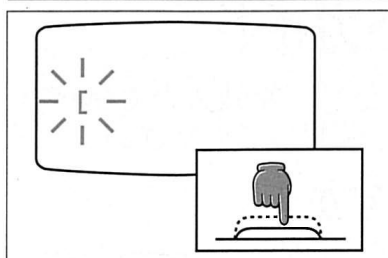


- ③ 点滅する右端の表示を見ながら、シャッターボタンを押す。

➔右端の表示が点滅し終わるまで注視してください。

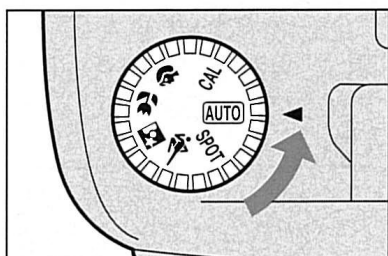
●シャッターボタンを押してもシャッターは切れません。

視線入力を使った撮影 ←



- 4 点滅する左端の表示を見ながら、シャッターボタンを押す。

→キャリブレーションの完了を示す緑ランプが点灯するまで注視してください。



- 5 ダイアルを回して写したいもののマークに合わせる。

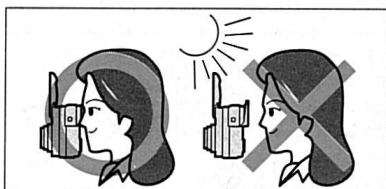


- 登録ができなかったときは、オレンジランプが点滅します。いったんシャッターボタンから指を離し、もう一度③からやり直してください。
- カメラをたて位置に構えると、視線入力およびキャリブレーションはできません。よこ位置で構えてください。
- 登録した目の情報はキャリブレーションを行うたびに書きかわります。
- キャリブレーションはファインダーをのぞいたら目を離さずに一連の操作を行ってください。
- ダイヤルがCALの時はズームやシャッターは作動しません。

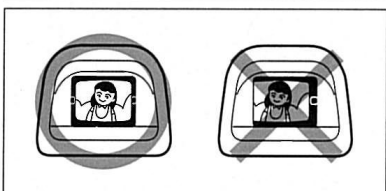
視線入力ワンポイントガイド

視線の登録がうまくいかなかったり、視線入力で機能がうまく働かないときは、次の点を確認してください。

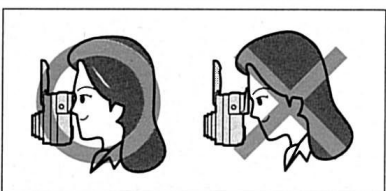
カメラを正しく構えていますか？



- 目をファインダーに近づけて、のぞいていますか？
- 太陽光線などが直接目やファインダーに入ってきていませんか？



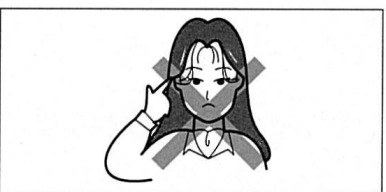
- ファインダー内の視線入力ガイドが完全に見えるように、ファインダーの真ん中に目を配置していますか？



- ファインダーを上、下、左あるいは右斜め方向からのぞかず、まっすぐと見えるようにしていますか？



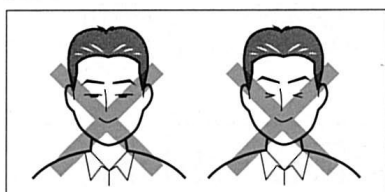
- カメラをよこ位置で使っていますか？



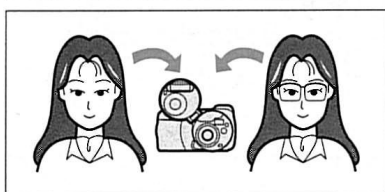
- 髪の毛が目にかかったりしていませんか？

視線入力を使った撮影 ←

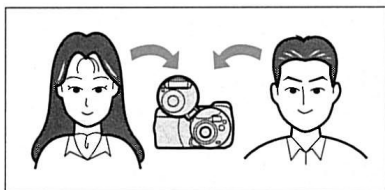
正しい状態で操作していますか？



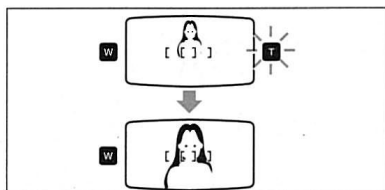
- 目を細めたり、まばたきをしたりしていませんか？



- 撮影時と同じ目の状態（メガネ、コンタクトレンズの着用など）で視線を登録していますか？



- 自分で登録したキャリブレーションを使っていますか？



- 視線入力ガイドが点滅し終えるまで注視していますか？

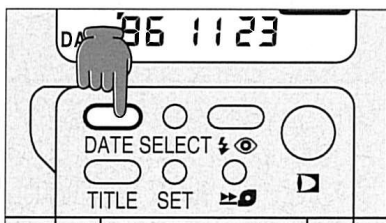


- 以上のようなことに注意しても視線入力ができない場合があります。その場合は手動でご使用ください。
- 約2分間カメラを放置すると視線入力の動作がOFFになります。再び使用するには一度シャッターボタンを軽く押してください。
- リモコン／セルフタイマーモードでは視線入力はできません。

日付／時刻を記録する

撮影した日付や時刻を写真の裏面もしくは両面に印字することができます。

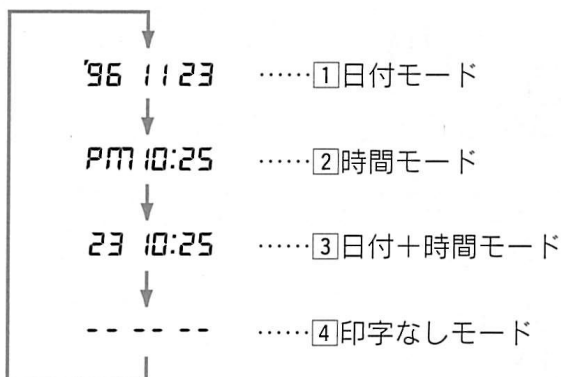
DATEボタンを押すと、日付モード→時間モード→日付モード+時間モード→印字なしモードの順に切り換わります。



① DATE (デート) ボタンを押す。

- ボタンを押すたびにモードが変わります。

DATEボタンの切り換え

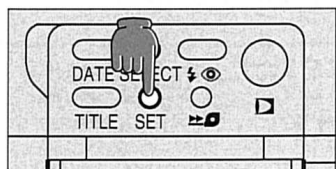


* DATEが表示されているときは、両面印字になります。



- 文字の大きさ、形状、色、印字位置、両面への印字の可否は現像店によって変わる場合があります。
- 日付・時刻とタイトルは、フィルムに写し込むのではなく、カメラがフィルムに磁気記録したデータ (IX情報) を元に、プリント時に印字されるものです。
- 写真の裏面には日付や時刻のほかに、カートリッジのIDナンバーとその写真がネガの何枚目かを表すコマ数が印字されます。

各モード内の切り換えについて



各モードでSET (セット) ボタンを押し、表示を選ぶ。

- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。

日付モード



- 年月日→月日年→日月年の順に表示が切り換わります。
- 両面に日付が印字されます。

時間モード



- 12時間表示 (AM/PM) ↔ 24時間表示が交互に切り換わります。
- 両面に時間が印字されます。

日付+時間モード

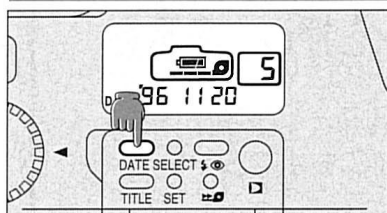


- 表示パネルでは日時分 (23 10:25) 表示ですが、印字は日付モードで選択した年月日/月日年/日月年と、時刻モードで選択した時分の組み合わせ (例: '96 11 23 22:25) で行われます。
- 両面印字 (DATE が表示される) ↔ 裏面のみ印字 (DATE が表示されない) が交互に切り換わります。

日付／時刻を設定・修正する

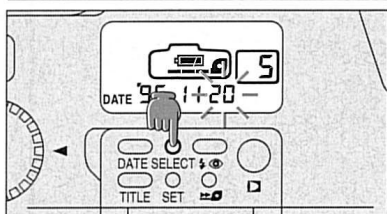
電池を交換したときや海外旅行などで日付／時刻を設定・修正するときは次のような手順で行ってください。

電池を交換したときは②の動作から始めてください。



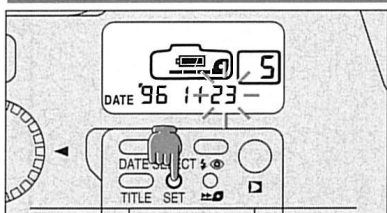
① DATE (デート) ボタンを押す。

- 修正する日付 (または時刻) を表示させます。



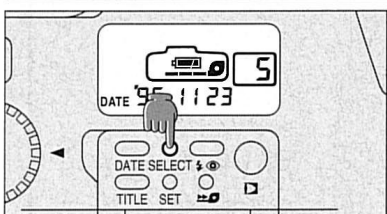
② SELECT (セレクト) ボタンを押す。

- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
- 修正する数字を点滅させます。



③ SET (セット) ボタンを押す。

- ストラップ止め具のボタン押し突起を使用します。
- 正しい数字をセットします。



④ 全ての数字が点灯するまで、SELECT ボタンを押す。

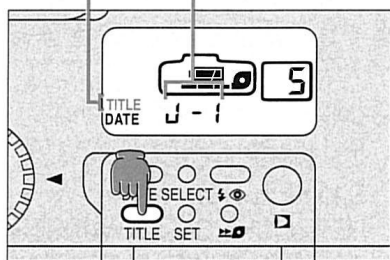


- 電池を交換すると表示パネルの日付が「----」に変わります。日付と時刻の両方を設定してください。
- SET (セット) ボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続送りになります。
- 日付+時間モードでは日付／時刻の設定・修正はできません。

タイトルを記録する

タイトルを写真裏面に印字することができます。タイトルの選択は電源を入れた状態で行います。

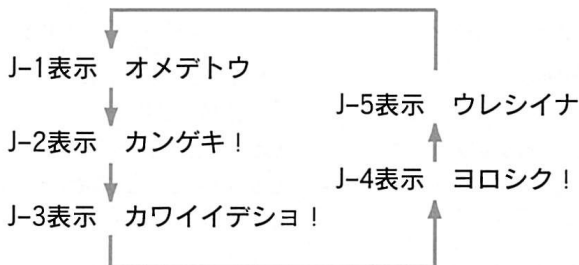
TITLE 表示 タイトルNo.



TITLE (タイトル選択) ボタンを押す。

- 表示パネルに **TITLE** 表示とタイトルNo.が表示されます。
- 押すたびにタイトルNo.が変わります。

日本語タイトルの内容



タイトルの記録をやめるには

- DATE (デート) ボタンを押し、表示パネルの **TITLE** 表示を消します。



- タイトルは1枚撮影するごとに日付/時刻に戻ります。継続したいときは、TITLE (タイトル選択) ボタンを2秒以上押し、表示パネルの **TITLE** を点滅表示させてください。
- DATE** 表示時は、日付・時刻も印字されます。タイトルのみを印字したいときは、DATE (デート) ボタンを押して、日付を印字なしモードにセットしてからタイトルをセットしてください。
- 文字の大きさ、形状、色、印字位置、対応言語などは現像・プリント店によって変わる場合があります。現像・プリントに出す前にご確認ください。

各言語のタイトルを選ぶ

TITLE 表示時にSELECT (セレクト) ボタンを押すと、タイトルの言語を、日本語J、英語E、フランス語F、ドイツ語D、スペイン語ES、イタリア語Iの順番で6言語から選択できます。

英語のタイトル内容

- E-1 I LOVE YOU
- E-2 THANK YOU
- E-3 SEASON'S GREETINGS
- E-4 HAPPY BIRTHDAY
- E-5 CONGRATULATIONS

フランス語のタイトル内容

- F-1 JE T'AIME
- F-2 MERCI
- F-3 MEILLEURS VOEUX
- F-4 JOYEUX ANNIVERSAIRE
- F-5 FÉLICITATIONS

イタリア語のタイトル内容

- I-1 TI AMO
- I-2 GRAZIE
- I-3 BUONE FESTE
- I-4 BUON COMPLEANNO
- I-5 CONGRATULAZIONI

ドイツ語のタイトル内容

- D-1 ICH LIEBE DICH
- D-2 DANKESCHÖN
- D-3 HERZLICHE GLÜCKWÜNSCHE
- D-4 FRÖHLICHE WEIHNACHTEN
- D-5 FROHES NEUES JAHR

スペイン語のタイトル内容

- ES-1 TE QUIERO
- ES-2 GRACIAS
- ES-3 FELICES PASCUAS
- ES-4 FELIZ CUMPLEAÑOS
- ES-5 FELICIDADES

各言語タイトルの日本語での意味

E、F、ES、I

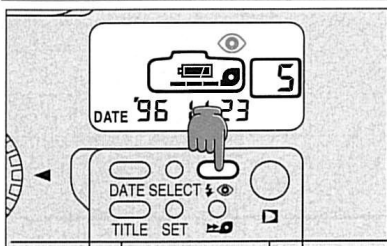
- 1表示 愛しています
- 2表示 ありがとう
- 3表示 メリークリスマス
- 4表示 お誕生日おめでとう
- 5表示 おめでとう

D

- 1表示 愛しています
- 2表示 ありがとう
- 3表示 おめでとう
- 4表示 メリークリスマス
- 5表示 明けましておめでとう

ストロボモードを変える

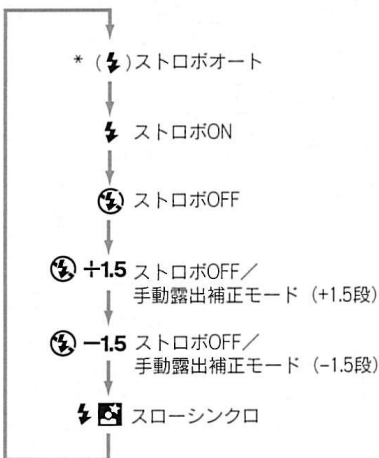
写したいものや撮影場所に合わせて、ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。



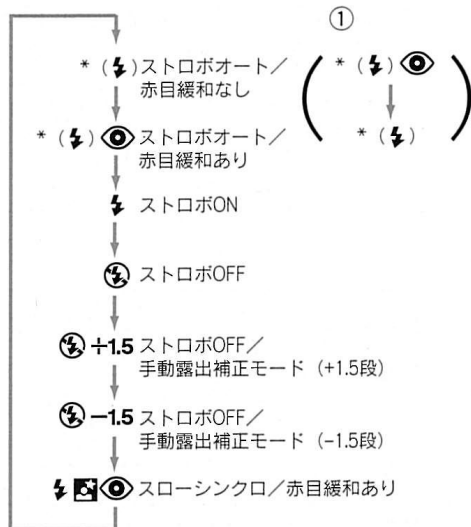
ストロボモードボタンを押す。

→ストロボモードが切り換わり、表示パネルで確認できます。

アクションマークのとき



それ以外のマークのとき



⊙ マークには ⊙ 設定なし

*ストロボオートでは、ストロボが発光する前に⚡が表示されます。



- 電源を入れると、ベストショットダイヤルで設定されたストロボモードになります。
- ストロボオート / ⊙ あり設定後電源を切ると、再び電源を入れたときはストロボオート / ⊙ ありに戻ります(①)。
- ストロボで連続撮影すると、発光部が熱くならないように、ストロボの発光間隔がのびることがあります。

ストロボの届く距離(ネガカラープリント用カートリッジ使用時)

フィルム感度	広角	望遠
ISO 100	0.6m~4.0m	0.6m~2.5m
ISO 200	0.6m~5.7m	0.6m~3.5m
ISO 400	0.6m~8.0m	0.6m~5.0m

赤目緩和撮影機能について

暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象と言い、ストロボの光が目の網膜に反射して起こります。

◎ 赤目緩和モード時はストロボ発光の前に赤目緩和ランプを約1秒間点灯させることで写る人のひとみを小さくし、赤目現象の発生を緩和します。



- 赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために約1秒間シャッターはきれません。すぐにシャッターをきりたいときはストロボモードボタンで赤目緩和機能をOFFにして撮影してください。



赤目緩和機能で撮影するときの注意

1. この機能は、写される人がランプを注視していないと効果がありませんので、写される人にランプを注視するように声をかけてください。
2. 写したい人から2m以内に近づいて撮影してください。
3. 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
4. レンズを広角側にして撮影してください。
5. 室内ではできるだけ明るくしてください。

ストロボモードを変える

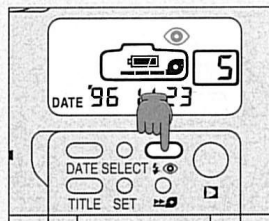
1 ストロボオート／赤目緩和なし

人物以外の撮影、または人物の撮影でも赤目緩和機能を使用せずにすぐにシャッターを切りたいときは、このモードにします。

逆光時や暗いときは、シャッターボタンを押し込むと同時に自動的にストロボが発光します。

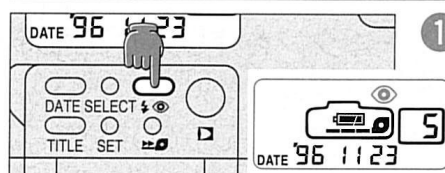



- 表示パネルに👁️が表示されている場合は、ストロボモードボタンを押して、切り換えます。
- ストロボオートでは、ストロボ発光する前に⚡が表示されます。

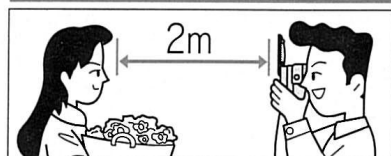


2 ストロボオート／赤目緩和…

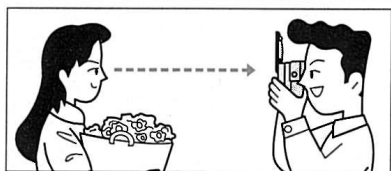
暗い場所などでの撮影で人物の赤目を緩和したいときは、このモードにします。シャッターボタンを押すと赤目緩和ランプが点灯し、ストロボが発光します。(→56ページ)



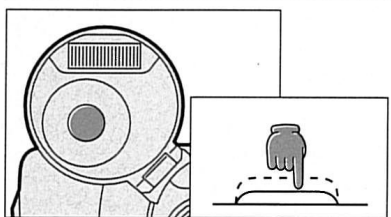
- ① ストロボモードボタンを押し、表示パネルに  を表示する。



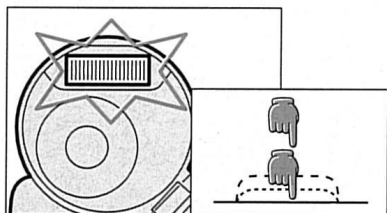
- ② 写したいものに2m程度まで近づく。
● 赤目緩和ランプは2mまでが効果的です。



- ③ 声をかけてカメラを注視してもらう。
● 写される人がまっすぐランプを見ないと赤目緩和の効果が出ません。



- ④ シャッターボタンを軽く押す。
→ 赤目緩和ランプが点灯します。このとき約1秒間はシャッターが切れません。
● シャッターボタンは押したままにしてください。



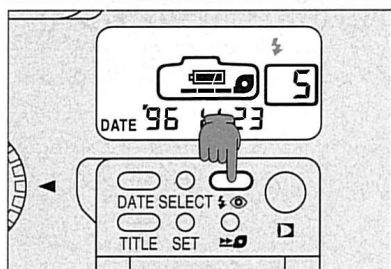
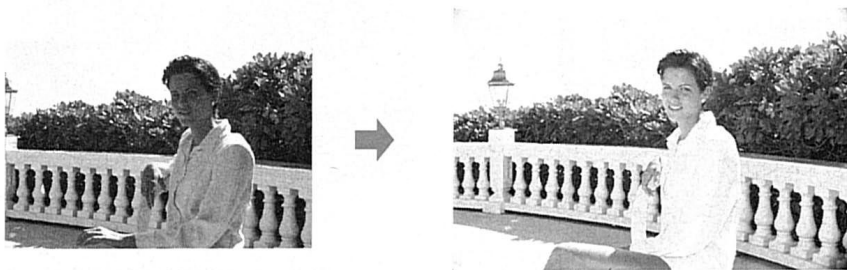
- ⑤ 約1秒間が過ぎたらさらにシャッターボタンを押す。
→ ストロボが発光し、シャッターが切れます。

ストロボモードを変える

3 ストロボONモード…………… ⚡

撮影場所の明るさに関係なくいつでもストロボが発光します。

日中の逆光時や被写体の影をやわらげるのに有効です。

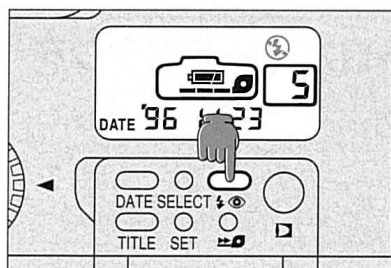


ストロボモードボタンを押し、⚡を表示する。

4 ストロボOFFモード……………



撮影場所が暗くても、ストロボが発光しません。
 夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、
 室内照明を利用したの撮影をするときに有効です。



ストロボモードボタンを
 押し、⚡を表示する。

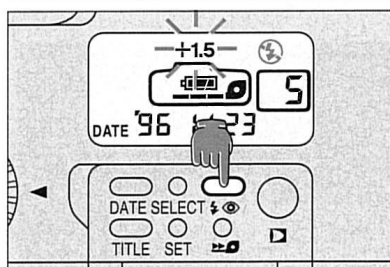


- 暗い場所でのストロボOFFモード撮影は、シャッター速度が遅く(最長約4秒)なるので手ぶれに注意してください。
- 手ぶれ警告でオレンジランプが点滅したときは、しっかりした台の上に置かか、三脚などを利用してください。

ストロボモードを変える

5 ストロボOFF・手動露出補正モード ± 1.5 -1.5

このカメラには逆光時に自動的に露出補正する機能がありますが、この手動露出補正モードでは写したいものを任意に明るくしたり暗くしたりすることもできます。



ストロボモードボタンを押し、+1.5または-1.5を点滅させる。

→ も一緒に表示されます。

● +1.5段露出補正モード

全体を明るく仕上げたいとき、空が画面の大半を占める風景やスキー場、逆光の人物等を撮影するときに効果的です。

● -1.5段露出補正モード

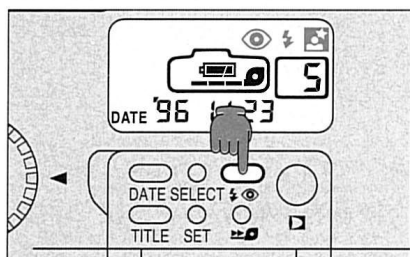
全体を暗く仕上げたいとき、スポットライトが当たったステージの人物、黒い建物をバックに人物等を撮影するときに効果的です。






- 手動露出補正モードでは、自動露出補正は行いません。
- 手動露出補正モードでは、ストロボ発光しません。

6 スローシンクロ／赤目緩和…  

スローシンクロは、夕暮れや夜景などを背景にして人物を撮影をするときに効果的な機能です。シャッタースピードを低速にすることでストロボの光が届かない遠くの背景まで写し込むことができます。



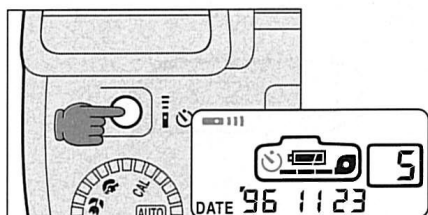
ストロボモードボタンを押し、表示パネルに  と  と  を表示する。





- スローシンクロのときには赤目緩和機能がはたらかず。
- スローシンクロでは、シャッタースピードが遅く（最長約4秒）なりますので、必ず三脚などを利用し、カメラを固定してください。また、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにするときれいに撮れます。
- 撮影条件によっては、ストロボオートで撮影したほうがきれいな写真が撮れる場合がありますので、スローシンクロとストロボオートの両方で撮影しておくことをおすすめします。

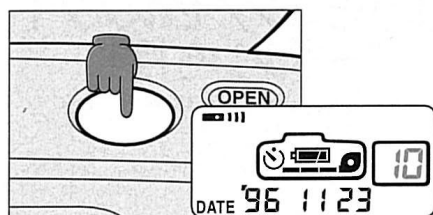


セルフタイマーを使うと、カメラから離れて撮影することができます。カメラはしっかりとした台の上に置くか、三脚を利用してください。セルフタイマーとリモコンのセットは電源を入れた状態で行います。



① リモコン/セルフタイマーボタンを押す。

→表示パネルに「」と「」が表示されます。



② 構図を決め、シャッターボタンを押す。


→赤目緩和ランプが点滅し、約10秒後にシャッターが切れます。

→表示パネルでカウントダウンします。

セルフタイマーを途中でやめるには

●リモコン/セルフタイマーボタンをもう一度押します。

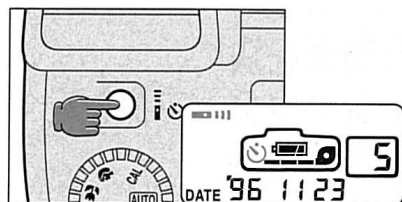
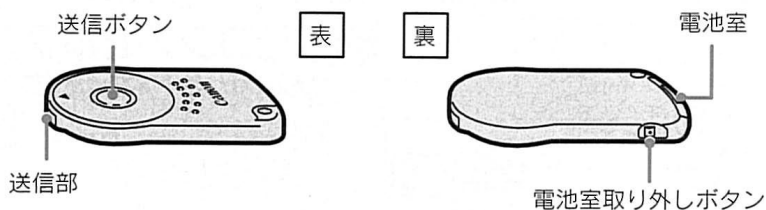


- セルフタイマー撮影は  が表示されている約4分間有効です。
- シャッターが切れる約2秒前になるとランプの点滅がさらに速くなります。ただし、赤目緩和機能作動時は、シャッターが切れる約2秒前に点滅から点灯に変わります。
- カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがボケる原因となります。
- 視線入力を使用できません。

リモコンを使った撮影

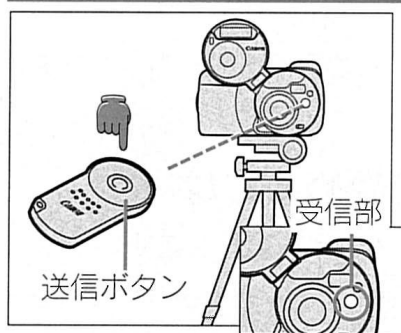
リモートコントローラー（リモコン）を使用するとカメラから離れて撮影できます。

リモコン(RC-5)の各部名称



① リモコン/セルフタイマーボタンを押す。

→表示パネルに「」と「」が表示されます。



② 構図を決めて送信部をリモコン受信部に向け、送信ボタンを押す。

→送信ボタンを押すと赤目緩和ランプが点灯し、約2秒後にシャッターが切れます。

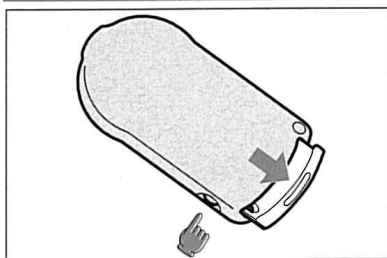
リモコンを使った撮影を途中でやめるには

- リモコン/セルフタイマーボタンを押して、表示パネルの「」と「」表示を消す。

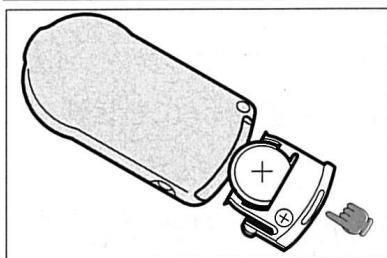
リモコンの電池交換

リモコン撮影でシャッターが切れなくなったら、新しい電池と交換してください。

使用電池：リチウム電池CR 2032 3V、1個を使用します。




- 1 電池室取り外しボタンを押しながら電池室を引き出す。



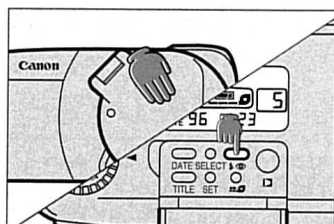
- 2 新しい電池を入れ、電池室を戻す。

- 古い電池を取り出し、＋を正しく合わせて新しい電池を入れます。



- リモコン撮影が可能な距離は正面から約5mです。
-  が表示されている約4分以内に送信ボタンを押せば、続けてリモコンで撮影できます。
- カメラをしっかりと台の上におくか、三脚などをご利用ください。
- リモコン受信部に太陽や蛍光灯の光が強くとあっていると、リモコン撮影できないことがあります。このようなときはセルフタイマーで撮影するか、カメラを移動してください。
- リモコン受信状態時にインバータ式蛍光灯が近くにあると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤作動することがあります。この場合はカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。
- 視線入力を使用できません。

■ フィルム感度と最大撮影枚数の確認方法

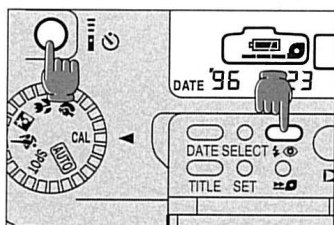


レンズカバーを閉じて電源を切り、ストロボモードボタンを押す。

→ データ表示部にフィルム感度、フィルムカウンターにフィルムの最大枚数が表示されます (左の図は、フィルム感度が ISO 200 でフィルムの最大枚数が 25 枚の場合)。

■ 一点測距の設定について…………… □

AUTO、**AF** マークでは 5 点測距 AiAF ですが、1 点測距 **□** にもセットできます。



⚡ **◎** ボタンと **☰** **☺** ボタンを同時に押す。

→ **□** が表示されます。

● 設定は電源を OFF にしても記憶されています。解除するにはもう一度 2 つのボタンを同時に押して **□** 表示を消します。

■ AiAF機能について

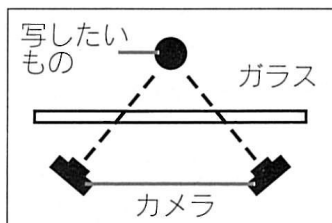
Ai=Artificial intelligence:人工知能、AF=オートフォーカス

AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピントを合わせるところを的確に判断する最新のメカニズムです。これは、数千点の写真を分析し、そのデータとキャノン独自のノウハウに基づき、開発された機能です。



- 写したいものが中央になくても、手前に障害物があっても的確にピントを合わせます。このため2人並んでいる写真でピントが背景に合っておきる「中抜け」などを防ぎます。

■ ガラス越しの撮影について



ガラス越しで撮影するときは、ガラス面から約20cm離れて、斜めの位置から撮影してください。なお離れすぎるとガラスにピントが合うことがあります。

こんなときは







「故障かな?」と思っても、修理に出す前にもう一度次の表でその部分を確認してください。

症状	原因	解決方法	ページ
電池チェックマーク ☐が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗している。 ●ストロボ連写した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池と交換する。 ●電池を入れ直す。 	21, 32 21, 32
電池チェックマーク ☐が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が入っていない。 ●電池が逆向きに入っている。 ●電池が完全に消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池を入れる。 ●電池を正しく入れ直す。 ●新しい電池と交換する。 	21, 32 21, 32 21, 32
シャッターが切れない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていない。 ●電池が消耗している。 ●巻き戻されたカートリッジがカメラに入っている。 ●赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターが切れない。 ●ストロボ連写した。 ●ダイヤルがCALになっている。 ●カートリッジ室ふたが開いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を入れる。 ●新しい電池と交換する。 ●カートリッジを取り出して新しいカートリッジを入れる。 ●シャッターが切れるまで押し続ける。 ●ストロボモードを切り換える。 ●しばらく放置する。 ●ダイヤルをCAL以外に合わせる。 ●カートリッジ室ふたを閉じる。 	20 21, 32 18, 30 56 55 29 34 18
写真がボケて写っている。	<ul style="list-style-type: none"> ●シャッターを切るときに、AF投・受光部をおおっていた。 ●セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した。 ●シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)。 ●AF投・受光部やレンズが指紋などで汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●髪や指などでAF投・受光部をおおわないように気をつける。 ●カメラの直前に立たないように気をつける。 ●シャッターボタンを静かに押す。 ●汚れをふきとる。 	17 63 26 17
表示パネルに「H」が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●自己診断機能で異常を検出した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池を一度取り出し、「H」表示が消えてから、入れ直す。 	21, 32
ストロボが光らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ストロボ発光部を押し下げていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ストロボ発光部を押さえないようにする。 	17

- Q1 従来の135 (35mm) フィルムは使えますか？
A1 いいえ、使うことはできません。IX240カートリッジフィルムをご使用ください。
- Q2 リバーサルフィルムは使えますか？
A2 はい、使うことができます。
- Q3 フィルム感度 (ISO) とは何ですか？
A3 フィルムが光を感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。
- Q4 データを写し込んだのに、インデックスプリントでは写っていないのですが？
A4 このカメラは日付やタイトルなどのデータをフィルムに磁気記録するため、インデックスプリントには写し込まれません。これらのフィルム上のデータは現像・プリント時に読みとられ、写真に印字されます。
- Q5 このカメラの焦点距離22.5~90mmを35mmカメラに換算するとどのくらいですか？
A5 約28mm~112mm (Hタイプ時) となります。
- Q6 使用状態マークが○ (未使用) 以外のカートリッジをこのカメラに入れるとどうなりますか？
A6 D (撮影途中) も□ (現像済) も⊗ (撮影済) も、その全てが⊗ (撮影済) マークになって出てきます。
- Q7 IXとはなんですか？
A7 新システムのInformation Exchange (情報入出力) 機能をIXといいます。撮影時にカメラがフィルム上に、日付、タイトル、撮影状況などの情報を記録し、それ以降のシステム全体で (現像、プリントなど) その情報を活用しようというものです。このカメラで撮影したフィルムには、日付、タイトル、撮影状況などの情報が磁気情報として撮影毎に記録されています。現像・プリント店はこれらのIX情報を利用して日付、タイトルの印字や、プリント時の補正をするため、より高品質のプリントを得ることができます。

主な仕様

形式	ズームレンズおよび磁気IX機能内蔵、IX240レンズ シャッター式AF全自動カメラ
画面サイズ	16.7×30.2mm
レンズ	キヤノンレンズ22.5—90mm F 5.6—8.9
焦点調整	ハイブリッド5点測距AiAF (オートフォーカス)
撮影距離	0.6m～∞ (クローズアップ時0.35m～∞)
シャッター形式	絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
ファインダー	実像式ズームファインダー 倍率：広角 0.29倍 望遠 1.16倍
ファインダー情報	ファインダー内：撮影範囲枠、AFフレーム、 Cタイプマスク (C時)、Pタイプマスク (P時)、 ベストショットインジケーター
ファインダー接眼部	視線入力キャリブレーション表示 撮影OKランプ兼近距離警告 (緑色LED) / 手ぶれ 警告 (オレンジ色LED)
視線入力機能	広角端 / 望遠端ズームモード プリントタイプ切り換えモード ズーム・プリントタイプ切り換えモード
フィルム装填	自動 (自動空送り付き)
フィルム巻き上げ	自動、一枚撮影、連続撮影 (アクションマーク時)
フィルム巻き戻し	自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	順算式、フィルムの移動に連動 フィルム空送り不良表示あり
セルフタイマー	電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒 後レリーズ、ボティ正面セルフタイマーランプ / 赤 目緩和ランプ点滅表示、フィルムカウンターに残り 秒時カウントダウン
リモートコントロール機能	赤外光を利用した専用リモコンシステム 送信ボタンにて作動、2秒後レリーズ 作動距離範囲：約5m以内 電池寿命 約6000回
測光作動範囲 (ISO 100)	全自動モード / ストロボ発光モード： 広角：1/45 F5.6～1/650 F14.2 (約EV10.5～EV17) 望遠：1/150 F8.9～1/430 F17.5 (約EV13.5～EV17)

マーク	AF				測光方式	
	5点AiAF	1点AF	ワンショット	サーボ	3分割	スポット
 全自動	●		●		●	
 スポット		●	●			●
 アクション		●		●	●	
 夜景	●		●		●	
 クローズアップ		●	●		●	
 ポートレート		●	●		●	

ストロボOFFモード/スローシンクロ：

広角：4秒 F5.6～1/650 F14.2 (約EV3～17)

望遠：4秒 F8.9～1/430 F17.5 (約FV4.3～EV17)

露出補正……………

①±1.5段(ストロボOFF)のマニュアル露出補正。ストロボモードの循環で設定

②①以外時、必要に応じて、+1.5段の自動露出補正

フィルム感度…………… ISO 25～10000, データディスク読み取りにより1/3段ごとに自動セット

内蔵ストロボ…………… 低輝度、逆光時自動発光式内蔵型ストロボ

ストロボ連動範囲…………… 広角；0.6～4.0m

望遠；0.6～2.5m

(カラードリフト用フィルムISO 100使用時)

ストロボ充電時間…………… 約5秒

ストロボ切り換え…………… ストロボモード切り換えボタンによる

①全自動モード：低輝度、逆光時自動発光

②全自動赤目緩和ありモード：低輝度、逆光時自動発光

③ストロボONモード：常時発光

④ストロボOFFモード：発光禁止

⑤ストロボOFF・手動露出補正+1.5モード：発光禁止

⑥ストロボOFF・手動露出補正-1.5モード：発光禁止

⑦スローシンクロモード：常時発光

デート機能…………… 方式；液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵
オートカレンダー(西暦2029年まで、うるう年自動修正)

時計機構；常温20℃下で月差±120秒以下

日付(7通り)、タイトル(6言語各5通り)

記録データ……………

文字形状…………… ラボ仕様による

印字の色…………… ラボ仕様による

電源…………… リチウム電池 CR2タイプ 3V 2個

撮影可能本数…………… 25枚撮りフィルム 約12本

大きさ…………… 120(幅)×64.6(高さ)×46.9(奥行)mm

質量…………… 275g(カメラ用電池別)

●ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。

●都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

逆光自動補正	倍率一定	焦点距離	至近距離	モード初期設定		フィルム給送		視線入力	
				ストロボ	赤目緩和	単写	連写	ズーム	フリットタイプ
●		全域	0.6m	AUTO	()	●		●	●
		全域	0.6m	AUTO		●		●	●
●		全域	0.6m	AUTO			●	●	●
●		全域	0.6m	スローシンクロ		●		●	●
●		46mm	0.35m	AUTO		●			●
●	●	全域	0.6m	ON		●		●	●

アフターサービスについて

- 1 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
- 2 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、キヤノンサービスセンターにお問い合わせください。
- 3 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部

〒108 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

カメラ相談室（製品取り扱い方法ご相談窓口）

東京 〒108 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F） …………… ☎(03) 3455-9353

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

札幌	〒060 札幌市北区北七条西1-1-2（SE山京ビル1F）	…………… ☎(011) 728-0665
仙台	〒980 仙台市青葉区国分町3-6-1（仙台パークビル1F）	…………… ☎(022) 217-3210
新潟	〒950 新潟市紫竹山1-10-26	…………… ☎(025) 246-8765
大宮	〒331 大宮市桜木町4-247（OSビル1F）	…………… ☎(048) 649-1450
千葉	〒260 千葉市中央区末広2-13-2	…………… ☎(043) 268-5261
銀座	〒104 東京都中央区銀座5-9-9	…………… ☎(03) 3573-7834
新宿	〒163-02 東京都新宿区西新宿2-6-1（住友三角ビル地下1F）	…………… ☎(03) 3348-4725
横浜	〒220 横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル2F）	…………… ☎(045) 312-0211
静岡	〒420 静岡市常盤町2-6-8（トーカイビル3F）	…………… ☎(054) 253-9010
名古屋	〒461 名古屋市東区東桜2-2-1（高岳パークビル1F）	…………… ☎(052) 939-1830
金沢	〒921 金沢市玉鉾2-266	…………… ☎(0762) 91-8710
京都	〒604 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513（京都第一生命泉屋ビル2F）	…………… ☎(075) 255-5953
梅田	〒530 大阪市北区中崎西2-4-12（梅田センタービル別館）	…………… ☎(06) 373-8181
神戸	〒651 神戸市中央区雲井通り4-2-2（神戸いすゞリクルートビル8F）	…………… ☎(078) 291-0535
岡山	〒700 岡山市柳町2-6-25（朝日生命岡山柳町ビル3F）	…………… ☎(086) 221-8678
広島	〒730 広島市中区大手町3-7-5（広島パークビル1F）	…………… ☎(082) 240-6711
高松	〒760 高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋町ビル1F）	…………… ☎(0878) 23-4681
福岡	〒812 福岡市博多区美野島1-2-1（キヤノン販売福岡ビル1F）	…………… ☎(092) 411-4173
沖縄	〒900 那覇市松山1-1-19（安田生命那覇ビル8F）	…………… ☎(098) 866-7933

カメラ技術センター（修理サービスご相談窓口）

東京 〒140 東京都品川区東品川1-2-5（東信天王洲ビル5F） …………… ☎(03) 3450-2731
大阪 〒540 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3（大阪研修センター1F） …………… ☎(06) 941-1076

営業所

大分 〒870 大分市城崎町1-3-31（富士火災大分ビル） …………… ☎(0975) 37-4117

休業のご案内

新宿（日曜日、祝日、第3木曜日）その他（土・日曜日、祝日）

営業時間のご案内

新宿：10：00～18：00 梅田：9：30～18：00 その他：9：00～17：30